

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月12日

協議会名: 田川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線A系統 坂谷～田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標収支率29.6%に対し、29.4%であった。走行距離が長い面が影響を与えたと想定される。	収支率の改善に向け、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。
田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標収支率47.5%に対し、51.8%であった。コミュニティバス運行が定着し、輸送人員の増加につながった。	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。
田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標収支率47.5%に対し、51.8%であった。コミュニティバス運行が定着し、輸送人員の増加につながった。	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。
田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標収支率47.5%に対し、51.8%であった。コミュニティバス運行が定着し、輸送人員の増加につながった。	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。
田川構内自動車(株)	伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標収支率50.9%に対し、57.9%であった。コミュニティバス運行が定着し、輸送人員の増加につながった。	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。
田川構内自動車(株)	伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標収支率50.9%に対し、57.9%であった。コミュニティバス運行が定着し、輸送人員の増加につながった。	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。
田川構内自動車(株)	伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標収支率50.9%に対し、57.9%であった。コミュニティバス運行が定着し、輸送人員の増加につながった。	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。